

ふかしまろこ
深小

しちがつ
七月

あんしょうちやれんじ
暗唱ちやレンジ

七月しちがつの暗唱あんしょうちやちやレンジれんじは、松尾芭蕉まつおほしやうという江戸時代えどじだいの俳人はいじんの俳句はいくこく五句ごくです。どの俳句はいくこくも有名な俳句ゆうめいはいくこくですので、ぜひ覚えてくださいぜひおぼえてくださいね。

まつおほしやう
松尾芭蕉

古池や蛙飛びこむ水の音



【読み】 ふるいけや かわずとびこむ みずのおと

夏草や兵どもが夢の跡

【読み】 なつくさや つわものどもが ゆめのあと

閑さや岩にしみ入る蟬の声

【読み】 しずかさや いわにしみいる せみのこえ

五月雨をあつめて早し最上川

【読み】 さみだれを あつめてはやし もがみがわ

秋深き隣は何をする人ぞ

【読み】 あきふかき となりはなにを するひとぞ